

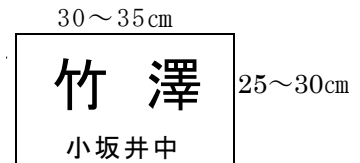
12. 柔道

- 1 期 日 令和8年7月18日(土)・19日(日) 予備日21日(火)
- ◇7月18日(土) 団体戦(男・女)
- 【受付】 午前8:30~8:45 【計量】 午前8:30~9:00
- 【審判・役員打合せ】 午前9:20~9:30
- 【試合開始】 午前9:30
- ◇7月19日(日) 個人戦(男・女)
- 【受付】 午前8:30~8:45 【計量】 午前8:30~9:00
- 【審判・役員打合せ】 午前9:05~9:15 【試合開始】 午前9:30(予定)
- 2 会 場 蒲郡市民体育センター 柔道場
- 3 参加人員
- ①団体戦 男子 1校1チーム(監督1名・選手5名・補欠2名)
- 女子 1校1チーム(監督1名・選手3名・補欠1名)
- ②個人戦 男女:人数制限なし

4 競技上の規程および方法

- ① 最新の国際柔道連盟試合審判規程・「少年大会特別規程」で行う。
- ア 試合時間は、団体戦・個人戦共に3分間とする。3回目の「指導」が与えられた時点で「反則負け」とする。延長戦(ゴールデンスコア)は、時間無制限とする。抑え込みのスコアは有効5秒、技あり10秒、一本20秒とする。
- イ 試合の勝敗は、「一本」「技あり」「有効」または「僅差」(『指導』の差2)とする。「指導」は、相手のスコアにならない。
- ウ ゴールデンスコアについては、規定の試合時間が終了した時点で試合両者にスコアがない場合、もしくはスコアが同等である場合、「指導」1差以下の場合、その試合はゴールデンスコアに突入する。ゴールデンスコアに入る前の規定試合時間内に与えられたスコア、ならびに罰則は、引き続きスコアボードに反映される。スコアが与えられた時点で、ゴールデンスコアは直ちに終了する。ゴールデンスコア中に「指導」が与えられた場合は、与えられた選手が、相手よりも多くの「指導」を受けたことになる場合、その試合は終了する。
- エ 団体試合の個々の試合では、技の評価が同等の場合、「指導」差が1以下の場合は、「引き分け」とする。
- ② 柔道衣背部にゼッケン(学校名・名字入り)をつけて試合をする。
- ア、サイズは、横30~35cm 縦25~30cm

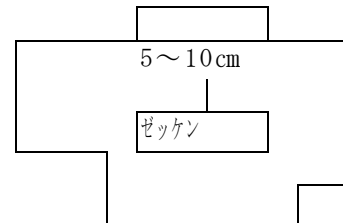
- イ、縫い付け場所は後ろ襟から5~10cm下の所で、周囲の縫い付けと対角線にも強い糸で縫い付ける。



※平成26年7月25日付け「全日本柔道連盟主催大会におけるIJF基準柔道衣の適用について」に基づいた規格の柔道衣・帯の着用が義務付けられる。(赤マークのみ)

- ③ 試合は団体戦と個人戦の2種類で行う。
- (1) 団体戦

- ア、試合はトーナメント戦とする。
- イ、勝負は勝ち点の多いものを勝ちとする。勝ち点と同じ場合は内容により決定する。(①一本・反則勝 ②技有 ④僅差)内容も同じ場合は「引き分け」とし、任意の選手による代表戦を1回のみ行う。
- ウ、チーム編成は最も体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。補欠を選手に繰り入れた場合も、順次体重順の編成となる。また、1度退いた選手は再出場できない。
- エ、団体戦男子は3人、団体戦女子は2人でも出場可。
- オ、3位決定戦を行う。また、準々決勝敗退4チームによる県大会出場権(5・6位)決定のためのトーナメント戦を行い、5位、6位決定戦を行う。



(2) 個人戦

ア、階級別トーナメント方式とする。(参加人数によりリーグ戦もあり)
イ、体重別階級は次のとおりとする。

※男子8階級

- 50kg級 (50kg以下)
- 60kg級 (55kg超～60kg以下)
- 73kg級 (66kg超～73kg以下)
- 90kg級 (81kg超～90kg以下)
- 55kg級 (50kg超～55kg以下)
- 66kg級 (60kg超～66kg以下)
- 81kg級 (73kg超～81kg以下)
- 90kg超級 (90kg超)

※女子8階級

- 40kg級 (40kg以下)
- 48kg級 (44kg超～48kg以下)
- 57kg級 (52kg超～57kg以下)
- 70kg級 (63kg超～70kg以下)
- 44kg級 (44kg級以下)
- 52kg級 (48kg超～52kg以下)
- 63kg級 (57kg超～63kg以下)
- 70kg超級 (70kg超)

ウ、体重が適合しない場合は失格とする。無理な増量・減量はしない。

(3) 計量

ア、団体戦 7月18日(土) 午前 8:30～9:00

イ、個人戦 7月19日(日) 午前 8:30～9:00

(注)・計量時間を厳守のこと。上記時間以外は失格とする。

- ・個人戦出場者は全員(団体戦出場者も含む)21日に計量を行う。
- ・計量時の服装は、男子は下穿き、女子はTシャツと下穿きの着用を認める。なお、下着の着用は認めるが、包帯・サポーターなどの着用は一切認めない。

※別室計量について①必要な選手は申し出る。

②係の判断により、必要と認められた選手は係から指示されることがある。

④競技役員は柔道部で決定する。

5 参加チームの選出方法 自由参加

6 参加資格 第80回愛知県中学校総合体育大会東三河大会実施要項第5項による。

7 引率者・監督・コーチ

- ① 参加生徒の引率・監督は、当該校の教員、校長が認めた部活動指導員、外部指導者及び地域クラブ担当者であること。※2名が望ましい。
- ② 引率・監督がいない場合は出場できない。
- ③ ベンチ入りするコーチは当該校の教員以外でもよい。ただし、成人または大学生であり、校長の承認した者で、当該校にあって継続的に指導を行っている者とする。
- ④ 当該校の教員以外の者をコーチとしてベンチ入りさせる場合は、コーチ確認書(校長承認書)を大会前に提出する。各校1名とする。他校とは兼ねてはならない。
- ⑤ 審判員に準じた服装をする。

8 表彰

① 団体戦 優勝チームに優勝旗・賞状を授与する。

② 個人戦 各階級の優勝者に賞状を授与する。

団体戦・個人戦ともに、2位・3位に賞状を授与する

9 申込方法

令和8年7月9日(金)までに1部をデータ作成し、二川中 松尾まで紙媒体・電子メールの両方で申し込む。メール申し込み後の階級の変更は認めない。メール宛先: fb-judo-j@toyohashi.ed.jp

10 その他

① 組み合わせ会は、7月14日(火)15:00～豊橋市立二川中学校にて

② 県大会出場は、団体男女それぞれ6チーム、個人戦各階級4名+推薦枠(※)

③ 脳震盪対応について

- ・大会1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- ・大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急専門医<脳神経外科>の精査を受けること。)
- ・練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- ・当該選手の指導者は、大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- ・大会についての情報については、愛知県中小学校体育連盟東三河支部HPを確認すること。

<問い合わせ先> 豊橋市立二川中学校 松尾尚樹(☎0532-41-0702)(fax0532-65-2710)